



<報道関係各位>

2023年1月17日

CRITEO 株式会社

Criteo、楽天「RMP - Display Ads」との広告配信における連携を発表

コマースメディア・プラットフォームで世界をリードするグローバルなテクノロジー企業である Criteo (クリテオ、本社:フランス、日本代表取締役:グレース・フロム、以下 Criteo)は、楽天グループ株式会社 (本社:東京都世田谷区、代表取締役会長兼社長:三木谷 浩史、以下 楽天) が提供する運用型広告配信プラットフォーム「RMP - Display Ads」と「Criteo AI エンジン」との広告配信における連携を発表しました。

本連携により、Criteo は、1 億以上^{※1}の楽天会員からなる顧客基盤とその ID に基づく消費行動分析データ^{※2}を「Criteo AI エンジン」で分析することにより、自社の広告主に対し、Criteo ソリューションでより精度の高いターゲティング配信を実現することが可能になります。また、楽天は、16 年以上の実績をもつ高度な機械学習をベースにした「Criteo AI エンジン」と「RMP - Display Ads」の連携により、楽天の広告主に向けたフルファンネルでの最適な広告配信を実現します。

今後、両社は各ソリューションとプラットフォームを通じて、より最適化されたフルファンネルでの広告キャンペーンのサポートを支援していきます。

今回の連携について、楽天グループ株式会社執行役員 コマース&マーケティングカンパニー ヴァイスプレジデント 紺野俊介氏は次のように述べています。

「私たちは、E コマースをはじめとする多様なサービスを通じた、オンライン・オフライン双方における消費行動分析データを、シングル ID に基づき蓄積しております。この消費行動分析データを活用した『RMP - Display Ads』が優れた広告在庫を持つ Criteo が提供する高精度なレコメンドエンジンと連携することで、『購買』に軸足を置きつつ、最適なロジックでユーザーの認知獲得や興味喚起につなげることが可能です。獲得効率を一定で維持しながら新規ユーザー獲得率の改善を図りたい、といったニーズなどを持つ広告主様に広くご活用いただければと思っております」

Criteo のセールスディレクターの蓑輪誠一は次のように述べています。

「Criteo は、最先端の AI 研究における成果を、製品やソリューション、そしてそれらを支えるテクノロジーに反映するために、技術開発へ継続的な投資を行っています。今回の連携は、その Criteo の技術力の高さと将



来性を評価いただいたものと自負しております。これからも Criteo はすべての広告主に対して、期待に沿った高い成果をご提供するために、より精度の高い広告配信を強化して参ります」

※1 2022年9月時点

※2 個人が特定できない状態に加工した分析結果を開示します。

■ Criteo (クリテオ) について ■

Criteo (NASDAQ : CRTO) は、世界をリードするコマースメディアプラットフォームを提供するグローバルテクノロジー企業です。およそ2,800名のCriteoチームメンバーは、世界の22,000人以上のマーケターと数千人以上のメディアオーナーと提携して、世界最大級のコマースデータセットをアクティブ化し、より良いコマースの成果を推進しています。Criteoは、新たな発見、イノベーションの実現、より豊富な選択肢を可能にする、公正でオープンなインターネットを支持しながら、信頼性に優れたインパクトのある広告を強化することで、すべての消費者に豊かな体験をもたらします。 ※CRITEO株式会社はその日本法人です。 www.criteo.com/jp/

■ 「RMP - Display Ads」について ■

URL : https://adsales.rakuten.co.jp/products/rmp_display_ads/

概要 : フルファネルでの広告配信を実現する運用型広告配信プラットフォーム

特長 : 1億以上の楽天会員からなる顧客基盤と消費行動分析データに基づくフルファネルでのディスプレイ広告の配信